

# 「東京都がん対策推進計画（第三次改定）」の構成について

# 現行計画の全体構成

章	章タイトル	主な内容
第1章	計画改定にあたって	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都におけるがんの状況（死者数・罹患者数等）</li> <li>・国のがん対策</li> <li>・都のがん対策計画の変遷</li> <li>・第2期改定計画の位置づけと計画期間</li> <li>・進行管理及び改定（協議会の開催と進捗状況評価）</li> </ul>
第2章	がんを取り巻く現状	<p>1 東京都のがんの状況 （罹患・死亡等、年齢調整死亡率の推移、全国との比較、推計患者数の推移）</p> <p>2 東京都のがん医療における地域特性 （高度・大規模な医療機関の集積、二次保健医療圏を超える患者の受療動向、小児がん医療）</p>
第3章	全体目標と基本方針	<p>全体目標「がん患者を含めた都民が、がんを知り、がんの克服を目指す」</p> <p>目標1「科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実」</p> <p>目標2「患者本位のがん医療の実現」</p> <p>目標3「尊厳を持って安心して暮らせる地域共生社会の構築」</p>
第4章	分野別施策	<p>I 一次予防</p> <p>II 二次予防</p> <p>III 医療提供体制</p> <p>IV 緩和ケア</p> <p>V 相談支援・情報提供</p> <p>VI ライフステージ（III～Vの分野のうち、特定のライフステージに関わる内容を記載（再掲含む））</p> <p>VII がんとの共生（III～V及びVIIIの取組により実現を目指す理念を記載（具体的取組はほぼ記載なし））</p> <p>VIII 基盤づくり</p>
第5章	計画推進のために	各関係主体の役割分担

## 全体構成の再検討

### ◆現行計画の課題

- ①分野別施策が8つに細分化されており、「予防」「医療」「共生」の3つの目標との関係性が明確ではない
- ②特に「がんとの共生」が「予防」や「医療」を含めた各分野の施策と「施策を支える基盤づくり」を通して実現を目指すものとなっており、取組と目標の関係性が明確ではない
- ③基本的に分野別にパートが分けられている中で、「ライフステージ」という分野横断的なパートが存在

### ◆次期計画における全体構成の検討の方向性（案）

- ①**目標は「予防」「医療」「共生」とし**、これに「基盤の整備」を加えた4分野を単位として施策を整理する
- ②「ライフステージに応じたがん対策」は分野の1つとしては位置付けず、「医療」及び「共生」それぞれの分野において、ライフステージに応じた必要な施策を記載する
- ③「**共生**」は、予防や医療も含めた全ての取組を通して実現されるものではなく、**目標及び分野として位置付ける**

#### 現行計画の「分野別施策」

- I 一次予防
- II 二次予防
- III 医療提供体制
- IV 緩和ケア
- V 相談支援・情報提供
- VI ライフステージ
- VII がんとの共生
- VIII 基盤づくり

#### 次期計画の「分野別施策」構成（イメージ）

- I がん予防（一次予防・二次予防）
- II がん医療（医療提供体制、緩和ケア等）
- III がんとの共生（相談支援・情報提供、社会的な問題への対応、療養環境の整備等）
- IV 基盤づくり

分野	大項目	中項目	主な記載項目
I 予防	1 がんの予防（一次予防）	(1) 生活習慣、生活環境	喫煙・受動喫煙、食生活・身体活動量 等
		(2) 感染症	肝炎ウイルス、HPV、HTLV-1、ヘリコバクター・ピロリ 等
	2 がん検診（二次予防）	(1) 検診受診率向上	関係機関支援、検診受診に関する普及啓発
		(2) 精度管理	科学的根拠に基づく検診実施、精密検査受診率向上、関係機関支援
II 医療	1 がん医療提供の充実	(1) がん医療提供体制の充実	拠点病院における医療提供（均てん化と集約化、チーム医療、意思決定支援を含む）、在宅医療 等
		(2) その他の医療提供	がんゲノム医療、支持療法、がんリハビリテーション 等
	2 緩和ケア提供の充実	(1) 緩和ケア提供体制の充実	拠点病院における取組、緩和ケア病棟、拠点病院と地域の連携、在宅緩和ケア 等
		(2) 人材育成	緩和ケア研修会、その他人材育成に係る取組
		(3) 正しい理解の普及啓発	
	3 ライフステージに応じた医療提供	(1) 小児・AYA世代	(小児) 医療提供体制の充実・連携の強化、在宅医療を担う人材育成 (AYA) 医療提供体制の整備 (共通) 長期フォローアップ・移行期支援、妊孕性温存療法
(2) 高齢者		在宅医療との連携、介護従事者に対する医療や緩和ケアに関する研修の実施、意思決定支援	
III 共生	1 相談支援の充実	がん相談支援センター、患者団体・患者支援団体、ピアサポート、患者サロン、各種相談窓口の連携 等	
	2 情報提供の充実		
	3 社会的な問題への対応	(1) 仕事と治療の両立支援	新規就労の支援、就労継続の支援、企業や都民の理解促進 等
		(2) 就労以外の社会的問題	アピアランスケア、自殺対策 等
	4 ライフステージに応じた患者支援	(1) 小児・AYA世代	(小児) 相談支援の質の均てん化、小児がん相談窓口の周知 (AYA) 相談支援の充実、在宅療養環境の改善 (共通) 妊孕性温存療法（意思決定支援等）、きょうだい支援、病院内教育体制の充実・強化
(2) 高齢者		(※現時点では記載事項の想定なし)	
IV 基盤づくり	1 がん登録	院内がん登録、全国がん登録	
	2 がん研究		
	3 正しい理解の促進	学校におけるがん教育、あらゆる世代へのがん教育	
	4 患者・市民参画の推進	4	

## 全体目標

『 がん患者を含めた都民が、がんを知り、がんの克服を目指す。 』

科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実  
～がんを知り、がんを予防する～

患者本位のがん医療の実現  
～患者本人の意向を尊重し、  
トータルケアの視点を持ったがん医療の推進～

尊厳を持って安心して暮らせる地域共生社会の構築  
～がんになっても  
自分らしく生きることのできる社会を実現する～

指標	現行値	目標値
がんの75歳未満年齢調整死亡率	75.5	減らす (67.9未満)
日常生活をがんに罹る前と同じように過ごすことができていると回答した患者の割合	66.9%	増やす

## 分野別施策

分野	主な取組の方向性
<b>I がんの一次予防</b> がんのリスクの減少（がんの一次予防）に向けた取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 生活習慣及び生活環境に関する取組               <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 喫煙率の減少に向けた啓発や環境整備の推進、受動喫煙防止対策の推進</li> <li>○ 科学的根拠に基づくがんのリスクを下げるための生活習慣に関する普及啓発、生活習慣を改善しやすい環境づくりの推進</li> </ul> </li> <li>2 感染症に起因するがんの予防に関する取組               <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 肝炎ウイルスに関する普及啓発と検査体制の整備、HTLV-1に関する検査の普及の実施、HPVやヘリコバクター・ピロリに起因するがん予防</li> </ul> </li> </ul>
<b>II がんの二次予防</b> がんの早期発見（がんの二次予防）に向けた取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 がん検診の受診率向上に関する取組               <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 受診率向上に向けた関係機関の支援の推進、検診受診に関する普及啓発の推進</li> </ul> </li> <li>2 科学的根拠に基づくがん検診の実施及び質の向上に関する取組               <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 科学的根拠に基づく検診の実施及び領域におけるがん検診の適切な実施に向けた支援の推進</li> </ul> </li> </ul>
<b>III がん医療提供体制</b> 患者及び家族が安心できるがん医療提供体制の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 都内のがん医療提供体制の充実               <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 拠点病院等における医療提供体制の充実（トータルケアの提供を目指したチーム医療の推進等）</li> <li>○ 在宅におけるがん医療の推進（拠点病院と地域の医療機関との連携等）</li> <li>○ 医療・療養に関する情報提供の充実</li> </ul> </li> <li>2 その他の医療提供の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>○ がんのリハビリテーションの推進</li> <li>○ がんゲノム医療の推進、科学的根拠を有する免疫療法等の普及啓発・支持療法の推進の検討</li> </ul> </li> </ul>
<b>IV 緩和ケアの提供</b> がんと診断された時からの切れ目のない緩和ケアの提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 都内の緩和ケアの提供体制の充実               <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 拠点病院等における緩和ケアの充実（診断時からの緩和ケアの充実、基本的な緩和ケアから専門的な緩和ケアへ速やかにつなぐ体制の整備等）</li> <li>○ 緩和ケア病棟のあり方の検討</li> <li>○ 拠点病院等と地域の医療機関との連携体制の確保、在宅緩和ケアの推進</li> </ul> </li> <li>2 緩和ケア研修会の充実・強化               <ul style="list-style-type: none"> <li>○ がん診療に携わる医師及び医師以外の医療従事者の基本的緩和ケアに関する知識の習得</li> </ul> </li> <li>3 緩和ケアに関する普及啓発の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 都民や患者・家族への緩和ケアに関する正しい知識の普及啓発等</li> </ul> </li> </ul>
<b>V 相談支援・情報提供</b> がんに関する相談支援・情報提供の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 各相談支援窓口の充実               <ul style="list-style-type: none"> <li>○ がん相談支援センターの認知度向上と多様なニーズに対応可能な体制や取組の充実</li> <li>○ 患者団体・患者支援団体、ピアサポート、患者サロン等の充実・情報発信等</li> <li>○ 各相談支援窓口の連携と情報共有</li> </ul> </li> <li>2 就労継続への支援等               <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 働きながら治療が可能な医療提供体制の整備、都民や企業等の理解促進等</li> </ul> </li> <li>3 就労以外の社会的な問題への対応               <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 治療による外見の変化や後遺症などへの適切な相談支援や必要な取組の検討等</li> </ul> </li> <li>4 情報提供の充実               <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 東京がんポータルサイトの内容充実と認知度向上等</li> </ul> </li> </ul>
<b>VI ライフステージに応じたがん対策</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 医療提供体制の強化・構築               <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小児がん医療提供体制の充実・強化等</li> <li>○ AYA世代のがん患者に対する医療提供体制の構築に向けた調査・検討等</li> </ul> </li> <li>2 相談支援の充実               <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小児がん患者に対する相談支援の充実と質の均てん化、相談窓口の周知等</li> <li>○ AYA世代のがん患者に対する相談支援の充実に向けた調査・検討等</li> <li>○ 生殖機能の保存に関する情報提供、病院内教育体制の充実等</li> </ul> </li> <li>3 緩和ケアの提供体制の充実               <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 拠点病院等における適切な緩和ケアの提供に向けた院内の連携方法等の検討等</li> </ul> </li> </ul>
小児がん・AYA世代のがん患者	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 働きながら治療を受けるがん患者               <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 働きながら治療が可能な医療提供体制の整備、都民や企業等の理解促進等</li> </ul> </li> </ul>
働きながら治療を受けるがん患者	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 医療及び緩和ケアの提供体制の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 在宅医療との連携促進、認知症等を発症したがん患者の意思決定支援</li> </ul> </li> <li>2 相談支援の充実               <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 相談支援窓口の連携体制の構築と情報提供</li> </ul> </li> </ul>
高齢のがん患者	

## Ⅶ がんとの共生

- サバイバースhip支援
- トータルケアの提供
- がん患者の更なるQOLの向上
- 多様なニーズに対応する相談体制
- 治療と社会生活との両立
- がんに関する正しい理解の促進

## Ⅷ 施策を支える基盤づくり

- 1 がん登録の推進
  - 全国がん登録の質の向上と普及啓発の実施
  - 院内がん登録の質の維持向上と分かりやすい情報提供
- 2 がんに関する研究の推進
  - がん研究の普及な推進
- 3 がんに対する正しい理解の促進
  - 学校におけるがん教育の推進
  - あらゆる世代に対するがんの理解促進及び啓発の推進

I～VI及びⅦの取組により実現を目指す。

## 第1. 全体目標と分野別目標 / 第2. 分野別施策と個別目標

全体目標：「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す。」

## 「がん予防」分野の分野別目標

がんを知り、がんを予防すること、がん検診による早期発見・早期治療を促すことで、がん罹患率・がん死亡率の減少を目指す

## 1. がん予防

- (1) がんの1次予防
  - ①生活習慣について
  - ②感染症対策について
- (2) がんの2次予防（がん検診）
  - ①受診率向上対策について
  - ②がん検診の精度管理等について
  - ③科学的根拠に基づくがん検診の実施について

## 「がん医療」分野の分野別目標

適切な医療を受けられる体制を充実させることで、がん生存率の向上・がん死亡率の減少・全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す

## 2. がん医療

- (1) がん医療提供体制等
  - ①医療提供体制の均てん化・集約化について
  - ②がんゲノム医療について
  - ③手術療法・放射線療法・薬物療法について
  - ④チーム医療の推進について
  - ⑤がんのリハビリテーションについて
  - ⑥支持療法の推進について
  - ⑦がんと診断された時からの緩和ケアの推進について
  - ⑧妊孕性温存療法について
- (2) 希少がん及び難治性がん対策
- (3) 小児がん及びAYA世代のがん対策
- (4) 高齢者のがん対策
- (5) 新規医薬品、医療機器及び医療技術の速やかな医療実装

## 「がんとの共生」分野の分野別目標

がんになっても安心して生活し、尊厳を持って生きることのできる地域共生社会を実現することで、全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す

## 3. がんとの共生

- (1) 相談支援及び情報提供
  - ①相談支援について
  - ②情報提供について
- (2) 社会連携に基づく緩和ケア等のがん対策・患者支援
- (3) がん患者等の社会的な問題への対策（サバイバーシップ支援）
  - ①就労支援について
  - ②アピアランスケアについて
  - ③がん診断後の自殺対策について
  - ④その他の社会的な問題について
- (4) ライフステージに応じた療養環境への支援
  - ①小児・AYA世代について
  - ②高齢者について

## 4. これらを支える基盤

- (1) 全ゲノム解析等の新たな技術を含む更なるがん研究の推進
- (2) 人材育成の強化
- (3) がん教育及びがんに関する知識の普及啓発
- (4) がん登録の利活用の推進
- (5) 患者・市民参画の推進
- (6) デジタル化の推進

## 第3. がん対策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

1. 関係者等の連携協力の更なる強化
2. 感染症発生・まん延時や災害時等を見据えた対策
3. 都道府県による計画の策定
4. 国民の努力
5. 必要な財政措置の実施と予算の効率化・重点化
6. 目標の達成状況の把握
7. 基本計画の見直し